

東京慈恵会医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター

2020年1月
開設予定！



基本理念

「人間の発育と発達を守る」

～よく生まれ よく育まれ よく働かせ～

慈恵医大の助産師像

妊産婦ひとり一人に寄り添い、自律を促すことができる。

また、小さな力を持って生まれた子どもの力を最大限に生かし

個別の人生を豊かに歩めるよう、母親やその家族を支え、

はぐくむことができる質の高い助産力をもった助産師を育てます！



総合周産期母子医療センターの役割と機能

- ◆ MFICU : 6 床新設 ◆ NICU・GCU・PICU : 増床
- ◆ 大学病院としての機能と地域における周産期医療の中核としての役割を兼ね備え、母体搬送の積極的な受け入れや、産科合併症以外の精神疾患、胎児異常等、様々なハイリスク妊娠・出産にも24時間対応できる高度先進的医療と看護の提供
- ◆ 「安心安全で満足のお産」と「ひとり一人の生活に目を向け、妊産婦とその家族の個別性に合わせた妊娠～出産～育児へつながる継続支援と新たな家族形成を発展させる看護」の提供



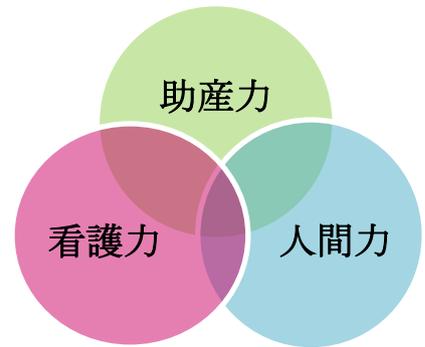
「こんな助産師になってほしい！」

ナイチンゲール看護論を基盤に、

「看護」と「助産」を思考する力を持ち、

周産期看護の専門性を発揮できる

助産師の育成を目指しています



- ◆ 妊産婦ひとりひとりに寄り添う心を大切にし、相手を理解しようと関わる姿勢がある助産師
- ◆ 妊産婦の持てる力を引き出し、母親役割を発揮できるように関わるができるコミュニケーション力の高い助産師
- ◆ お産だけではなく、小さく生まれてきた子どもの持てる力に着目し、成長・発達を促すことができる専門性の高い助産師
- ◆ 使命感をもち情熱あふれる助産師